

患者さんへのお願い

当院で両心室ペースメーカーを植え込まれた患者さんを対象に単純 CT から抽出した心外膜脂肪を利用した冠状静脈の解剖学的評価方法についての研究を施行致しますので、患者さんへお知らせとお願いをさせていただきます。

研究名称

両心室ペースメーカー植え込み患者に対する単純 CT から抽出した心外膜脂肪を利用した冠状静脈の解剖学的評価方法について

研究の概要

両心室ペースメーカーを植え込まれた患者さんにおいて、術前に撮影した単純 CT 画像から心外膜脂肪を描出することにより、左室リード留置に適した冠状静脈を詳細に描出することができるか検討する研究です。

期間

2023年3月31日まで。

情報項目

年齢、性別、身長、体重、BMI (Body Mass Index)、BSA (Body Surface Area、心臓超音波データ、虚血性心疾患の既往歴、血清クレアチニン、心臓 CT 画像、心臓カテテル画像。

利用者の範囲

研究責任者により上記情報を使用します。

本研究は研究機関の長の許可、ならびに倫理審査委員会での審査を受けています。

研究機関の名称

労働者健康安全機構横浜労災病院

研究責任者の氏名

徳留大剛

研究の目的・意義

両心室ペースメーカー手術は通常のペースメーカー手術と比較し複雑なケースが多く、特に患者さんの解剖と手術の難しさが関係してきます。そこで、以前より術前検査の一環として行われてきた単純 CT 画像から、今まで以上に詳細な冠状静脈の解剖学的情報を得ることができるか調査することを目的とし、この研究を行います。今後、この方法の有用性を見出すことで、両心室ペースメーカーの手術を受ける患者さんに対し、より安全かつ効率的な手術が提供できるものと考えます。

提供される情報については個人が特定されないよう、匿名で行います。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名

臨床工学部 主任 徳留大剛

ご不明な点がございましたら以下にご連絡ください。

担当者

横浜労災病院 臨床工学部 徳留大剛 電話 045-474-8111(代表)